

2025年度経営アカデミーご参加者、ご派遣元、修了者の皆様へ

生産性運動70周年記念・経営アカデミー設立60周年記念 経営アカデミー リーダーズフォーラム2025 のご案内

拝啓

残暑の候、貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。

平素は経営アカデミーはじめ、日本生産性本部の諸活動に対し格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、経営アカデミーでは、生産性運動70周年、経営アカデミー設立60周年を記念し、経営アカデミー関係者が一堂に会し、アカデミーOBOGの対談による研鑽、過去の優れたグループ研究紹介等、経営アカデミーへの参加意義を振り返るイベントを開催致します。

要務ご多用の折と存じますが、経営アカデミーを通じた異業種交流、情報交換の機会として、ぜひご出席くださいますよう、お願い申し上げます。

敬具

記

日 時 2025年11月12日(水) 14:00~17:40
17:50~19:00(懇親会)

会 場 日比谷国際ビルコンファレンススクエア(都営三田線内幸町駅直結)

参 加 者 今年度アカデミーコース参加者/派遣元/修了者等 (約130名程度)

参 加 費 無料

次 第 (予定)

14:00~15:40

『経営アカデミー60年の軌跡』(事務局)

第1部 『次世代リーダーたちが語る、リーダーシップの軌跡とこれから』

玉城 和美氏 AGC(株)執行役員 広報・IR部長(2008年 経営財務コース修了)

岸 恵一氏 コニカミノルタ(株)執行役員 技術開発本部長(2021年 経営戦略コース修了)

松岡 宏治氏 全日本空輸(株)執行役員 労政部長(2000年 人事労務コース修了)

沼上幹氏 早稲田大学ビジネスファイナンス研究センター教授(経営アカデミー学長)

<休憩・移動>

16:00~17:40

第2部 『実践知の軌跡 一過年度グループ研究紹介』(分科会形式)

*過去3年程度の経営アカデミーグループ研究の中からより優れた研究内容を発表いただきます

第1セッション:グループ①~③(45分)

第2セッション:グループ④~⑥(45分)

*お申込みの際に、各セッション内で聴講したいグループを1つずつお選びください

17:50~

懇親会

*会場内別室に移動し、立食パーティー形式で行います。

■ご出欠

以下（またはQRコードの）フォームよりお申込をお願いいたします。

参加申込フォーム <https://forms.office.com/r/gBk089ZJGr>



※本編・分科会へのお申込み受付は先着順です。分科会は定員に達し次第、順次締め切りとさせていただきますので、お早目のお申込をいただければ幸いです。

※お申込み締め切り 10月末日まで

■会場案内

日比谷国際ビルコンファレンススクエア

※当日は、全スパン本イベントの貸し切りとなります。

住所：東京都千代田区内幸町2丁目2-3 日比谷国際ビル8階

アクセス情報：<https://hibikoku.tokyo/access/>

地図：



交通： 都営地下鉄三田線 内幸町駅 A6出口地下通路直結 徒歩1分

東京メトロ丸の内線・日比谷線・千代田線 霞ヶ関駅 C4出口地下通路直結 徒歩3分

■第1部『次世代リーダーたちが語る、リーダーシップの軌跡とこれから』
登壇者紹介

A G C 株式会社

執行役員 広報・IR部長 玉城和美氏
(2008年 経営財務コース修了)

慶應義塾大学法学部卒業後、住友信託銀行（現 三井住友信託銀行）にて受託資産運用関連業務や株式アナリスト業務等を担当。2006年より旭硝子（現 AGC）に入社し、広報・IR部にてIR業務を担当。その後、社外広報業務を経て、広報・IR部長として社名変更時の認知度向上キャンペーンなどを統括。以降、総務部長、経営企画本部サステナビリティ推進部長を歴任し、2025年1月より現職。



コニカミノルタ株式会社

執行役員 技術開発本部長 岸 恵一氏
(2021年 経営戦略コース修了)

大学でコンピュータサイエンスを専攻後、京セラ株式会社にて携帯電話の組み込みソフト開発に従事。Microsoftに転職後Windows開発チームのリーダーとしてグローバルに活躍。ハードとソフト両方に関わる技術開発を志し、コニカミノルタ株式会社へ入社。画像AI/IoT技術プラットフォーム「FORXAI」の企画・立ち上げをリードし、2024年度より全社横断の開発部門である技術開発本部の本部長として、材料・光学・微細加工・画像などのコア技術とAI・IoTを融合した開発を推進。現場での課題に対し、技術を通じた解決と新たな価値創出を目指している。



全日本空輸株式会社

執行役員 労政部長 松岡宏治氏
(2000年 人事労務コース修了)

明治大学政治経済学部を卒業後、平成4年全日本空輸株式会社入社。千歳空港支店に配属。その後整備本部、客室本部等に配属。その間、財団法人社会経済生産性本部（現・公益財団法人日本生産性本部）に1年間出向する。平成15年より、14年間にわたり、全日本空輸労働組合に専従。平成29年より客室センター客室訓練部に配属。同担当部長、副センター長等を経て、令和7年より現職。



経営アカデミー学長
学校法人早稲田大学
ビジネス・ファイナンス研究センター 研究院教授 沼上 幹



◆略歴

1983年3月 一橋大学社会学部卒業
1988年4月 成城大学経済学部 専任講師
1991年4月 一橋大学商学部附属産業経営研究所 専任講師
1992年4月 一橋大学商学部附属産業経営研究所 助教授
2000年3月 一橋大学大学院商学研究科 博士
2000年4月 一橋大学大学院商学研究科 教授
2011年1月 一橋大学大学院商学研究科 研究科長(～2012年12月)
2014年12月 一橋大学 副学長(～2020年8月)
2018年4月 一橋大学大学院経営管理研究科 教授
2023年4月 早稲田大学 ビジネス・ファイナンス研究センター研究院教授

◆社外取締役

JFEホールディングス株式会社 社外監査役(2018～)
東京センチュリー株式会社 社外取締役(2022～)
株式会社荏原製作所 社外取締役(2023～)

◆主な受賞

○日経・経済図書文化賞(2000), エコノミスト賞(2000)
『液晶ディスプレイの技術革新史—行為連鎖システムとしての技術』白桃書房
○企業家研究フォーラム賞(2019)
『日本の企業家13 小倉昌男 成長と進化を続けた論理的ストラテジスト』(PHP研究所)
○紫綬褒章(2021)

■第2部 『実践知の軌跡 ―過年度グループ研究紹介』発表テーマ、グループ紹介

＊第1セッション、第2セッションの時間は入れ替わる可能性があります。

聴講のグループ、会場、時間等は、当日会場で配布のネームプレートに記載致します。

会場内の案内と併せて、ご確認ください。

第1セッション 16:00～16:45 ①～③から1グループをお選びください

グループ① トップマネジメントコース 2024 年度 E グループ

「M&Aを活かした企業の成長戦略 ～コアコンピタンスを軸とした持続発展～」

なぜ今、企業はM&Aを選ぶのか？優良企業 100 社のデータ分析と3社事例の深掘研究から、成功を導くM&A戦略とコアコンピタンスの関係を解き明かします。

グループ② 人事革新コース 2024 年度 A グループ

「令和を生き抜け！新キャリア自律 ～攻めと守りの多様なキャリア～」

5社92名のアンケートと12名へのインタビュー結果から、キャリア自律に影響する要因を浮き彫りに。そこから導き出された具体的な解決策と新しい視点、アプローチを提案します。

グループ③ イノベーションデザインコース 2024 年 C-2 グループ

「Pine Gate ～松が導く新しい gate 未来への可能性～」

最終発表は事業構想提案！チーム活動では、未来の社会課題を起点に、バックキャストの思考法と参加企業のコア技術を持ち寄り、提案を検討します。今回は2024年度優秀賞に選ばれた「日本の松」の未来に注目した斬新な提案を紹介します。

休憩・次のセッション会場へ移動

第2セッション 16:55～17:40 ④～⑥から1グループをお選びください

グループ④ 経営戦略コース 2023 年度 B グループ

「気合×根性のシナジー ～夢から始まる真のシナジー～」

成長戦略としての「シナジー効果」に注目し、それが最も効果的に生み出されるM&Aの事例をつぶさに分析。特にクロスボーダーM&Aの成功要因とシナジーの位置づけを明らかにしました。

グループ⑤ 人事革新コース 2024 年度 B グループ

「組織を支えるもう一人の主役 ～サブリーダーの存在が持つ力～」

サブリーダーの設置は、組織力強化だけでなく、リーダー育成や人材定着にも効果を発揮することが明らかに。「番頭型」「右腕型」にタイプ分けして権限移譲モデルを示し、サブリーダー育成の有効策を提言します。

グループ⑥ 組織変革とリーダーシップコース 2024 年度 A グループ

「自律変革型の職場をつくるミドルリーダーの行動」

変化（VUCA）に適応し続ける職場づくりを実現する方法論について探究し、アンケート調査を通じて、職場変革に必要なミドルリーダーの行動を明らかにしました。

■【ご参考】2024年度の様子

【プログラム】

○基調講演・経営アカデミー学長との対談

株式会社日立製作所 取締役会長 代表執行役 東原 敏昭氏
経営アカデミー 学長 沼上 幹 先生

○参加型ワークショップ「実務家が経営学を学ぶ意味」

法政大学大学院 政策創造研究科 教授 石山 恒貴先生

2024年度は、コース参加者様、ご派遣企業、経営アカデミー運営幹事※、OBOGの皆様、あわせて約120名にお越しいただきました。

【基調講演・対談】

基調講演では、日立製作所 会長 東原敏昭氏が、「日立の事業トランスフォーメーションと今後の価値創造」をテーマに、硬直した企業文化の見直しやM&Aを活用した「社会イノベーション事業」への転換について語りました。経営者には「明確なビジョン」「現状の正確な把握」「異なる意見を受け入れる力」が必要と述べています。

経営アカデミー学長 沼上幹先生との対談では、東原氏が「組織文化の変革が最大の課題」と指摘し、多様性の受け入れが意思決定の質を向上させると主張。一方、沼上先生が「ビジネスモデルの変革」を提起すると、東原氏は「製品提供からソリューション提供への進化」の重要性を強調しました。最後に、リーダーに求められる資質として「主体性、共感力、人を巻き込む力」が挙げられ、変革には「人材の意識改革」が不可欠であると締めくくられました。



【ワークショップ】

法政大学大学院 石山恒貴教授のファシリテーションのもと、参加年度やコースを超えたグループでワークショップが行われました。冒頭では、経営学と実務の乖離について触れ、「越境学習」による多様な視点の取り入れが重要であると強調されました。

その後、グループごとに「経営アカデミーのキャッチコピー」を考えるワークショップを実施。生成AIが候補を3つに絞り、全員による投票の結果、「未来変革への登竜門」がベストコピーに選ばれました。他の候補には、

「企業の枠を超えた知識と経験が集う、あなたの冒険の舞台」

「学びと出会いの化学反応-人生と日本を豊かにする触媒-」

が挙がりました。この取り組みは、異業種同士が協力し、アカデミーの価値を言語化する貴重な機会となりました。



■2024 年度経営アカデミー大会 参加者の方々の声

【基調講演・対談】

- ・ 日立のコア技術を核としたソリューション展開（LUMADA）、ガバナンス体制、求められる人物像と非常に多岐に渡る示唆を得られた内容でした。沼上学長との対談でも東原会長の思考がどのように組み立てられ、展開されているのか大変興味を持てるような対談で面白かったです。
- ・ 現場一筋から経営者に昇り詰め、常に学び、常に変革をリードする東原様の凄みを感じることでできる講演でした。
- ・ 企業が提供しているものの価値が時勢によって変動していくことを認識して、その変化をいち早く察知する必要性を認識できました。トップリーダーの覚悟や自身を高め続ける姿勢に感銘を受けました。
- ・ 経営層だけでなく、仕事をするすべての方に共通して理解すべきお話だったと感じます。こうした考えを日本企業に浸透させることで、強い企業を増やせると感じました。
- ・ これまで講演を聞いた経営者の方の中で、もっともスケールが大きく、考え方にブレのない講演でした。すばらしい講演でした。

【ワークショップ】

- ・ 異なるコースの方たちがどのようなことを勉強されていたのか、自分たちのコースとはまた違った発見があることが分かりました。ただ、総じてアカデミーに参加したことで気づきや自身の成長、今後の自信に繋がることは皆さん口を揃えて同意されていました。これが正に成果だったのだと改めて認識しました。
- ・ 世代の異なる経営アカデミーのOBの方と話をする機会となり、新たな刺激をいただいた。アカデミーの同期とは半年間の研修を経て、かけがえのない交流関係を築けたが、また枠を広げられるチャンスをいただけた事が良かったと思っています。
- ・ その場で出会った人たちが、それぞれキャラクターや役割が自然と発揮されていて、その中で自分の付加価値も出せたとし、チームで議論することで一人では出てこないキャッチコピーが出せたと思います。
- ・ グループ参加者との意見交換はとても有意義でした。特に講演内容に関して、それぞれの会社ではどのようなことを行っているか、比較しながら議論ができとても多くの気づきを得られました。
またワークショップのテーマ自体も経営アカデミーでの学びの振り返りもありとても面白かったです。